

## 第 43 回原状回復対策協議会について

9 月 18 日に開催された第 43 回原状回復対策協議会内容についてお知らせします。

### 1. 廃棄物の撤去処分状況について

廃棄物の運搬・処分状況については、9 月末現在で 25,709 t（進捗率 53.6%）となっており、昨年同時期（24,236 t 50.5%）を若干上回るペースで進んでいます。

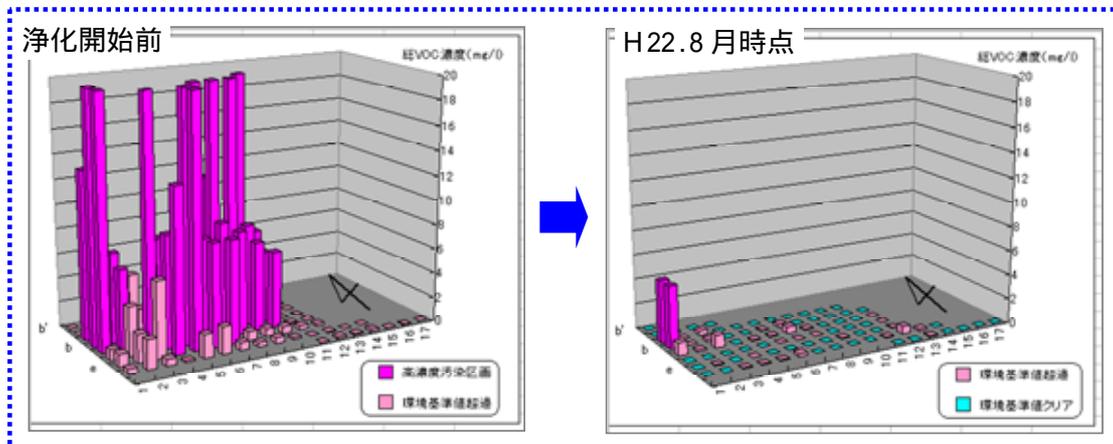
また、昨年度 D 地区で確認されたドラム缶については、9/10 をもって撤去を完了しており、昨年度の撤去分を含め 577 本となりました。撤去跡地の周辺土壌は、ジクロロメタン等の有害物質により環境基準値を上回る汚染が確認されています。この汚染の浄化については、他の地区も含めて、年内に着手する予定です。



D 地区 ドラム缶撤去状況

### 2. 汚染土壌対策について

N 地区での土壌浄化は、全 87 区画のうち、54 区画（62%）で環境基準値をクリアしており、ほかの区画においても、県境部の 3 区画を除き汚染物質の濃度は大幅に低下しています。汚染濃度の高い県境部の 3 区画については、付近の井戸で環境基準値を下回っていることが確認されていることから、汚染は局所的なものと判断し、9 月中は揚水ばっ気を継続し、以降の濃度低下状況も考慮しながら、バイオへの移行について検討することとしています。



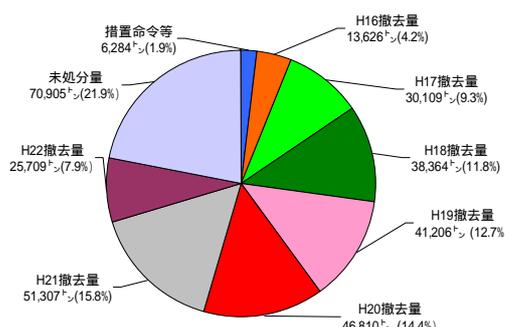
N 地区各区画における汚染濃度の変化（濃度グラフ）

### 廃棄物の撤去状況について（平成 22 年 9 月末現在）

表：22年度の月別撤去量

月	撤去量(トン)
22年4月	538
22年5月	2,929
22年6月	5,603
22年7月	6,276
22年8月	4,901
22年9月	5,462
合計	25,709

平成22年度撤去目標 48,000トン



9 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、253,415 トン（78%）を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。